

# 三八圏域

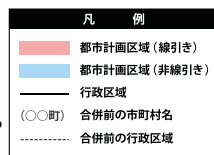
海と山に囲まれた、活発な産業や利便性の高い生活が展開できる圏域

[構成市町村] 八戸市・三戸町・五戸町・田子町・南部町・階上町・新郷村・おいらせ町(1市6町1村)  
※圏域別計画において、おいらせ町は三八・上北圏域両方に含まれます。

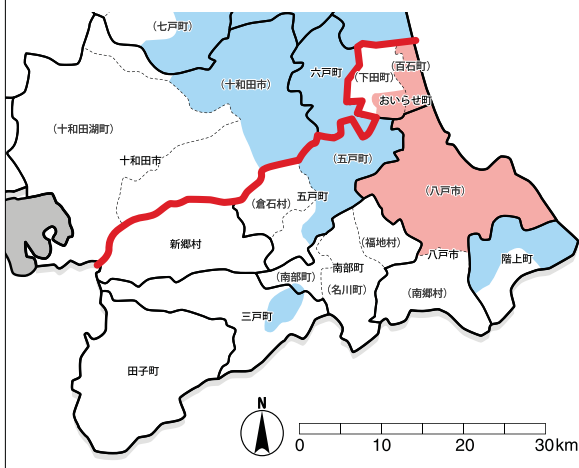
[人口] 348,205人  
(青森県全体の24.2%/平成17年国勢調査より)

[面積] 134,645ha(青森県全体の14.0%)

図 三八圏域の市町村



※おいらせ町は、八戸都市計画区域に含まれることから、本圏域に含めるものとします。



三八圏域は、県の東南部に位置し、八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町(※おいらせ町は、三八と上北の両方に含まれる)の1市6町1村で構成されています。人口は青森県全体の24.2%、面積は青森県全体の14.0%を占めています。

本圏域は自然環境に恵まれ、東部は種差海岸などの美しい海岸線、南部・西部の丘陵地ではブナ・スギや赤松などの樹林地が広がっています。

西部より馬淵川・新井田川・五戸川・奥入瀬川などが圏域を流れ、太平洋に注いでいます。

奥州街道が通り、八戸藩の城下町八戸市や、南部氏歴代が居城を構えた三戸町を中心に栄えた地であることから、歴史・文化資源も多く残されています。

かつては多くの市町村が存在していましたが、昭和の大合併で1市8町4村となり、その後の平成の大合併で八戸市、おいらせ町、五戸町、南部町が誕生し、現在の姿となっています。

# I 三八圏域の特徴と課題

## (1) 水産業を主体とした一次産業や、製造業を中心として発展している圏域

### 特徴 1

本圏域では、全国4位の水揚げ量を誇る八戸港に代表される水産業をはじめ、野菜・果樹などの農業、畜産業がバランス良く展開されています。

国内有数の漁港である八戸港を擁し、イカ・サバなどを中心に漁獲金額は県内の4割を占めており、これらの資源による水産加工業も盛んで、本圏域における製造品出荷額の第一位となっています。

本圏域の南西部には穏やかな丘陵地が続き、ヤマセが吹く気候条件のもと、起伏のある地形をいかした多様な野菜・果樹の栽培が盛んであり、全国的に知られているブランドにんにくなども生産されています。また、八戸港へ輸入された飼料を活用した養豚・養鶏を中心とした畜産業も盛んであり、特に養鶏業は県内シェアの約8割を占め、和牛のブランド化にも取り組んでいます。

### 課題 1

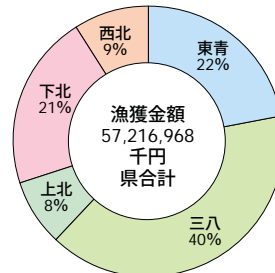
水産業や農業、畜産業を支える生産基盤の保全が求められています。

### 特徴 2

本圏域の製造品出荷額等は、県全体の43%を占めており、本県のものづくりの拠点となっています。

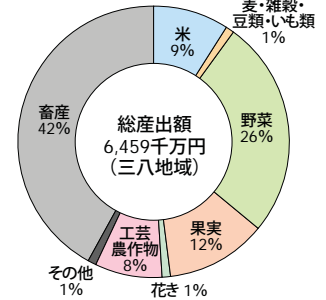
本圏域では、古くから海上物流の拠点である八戸港の存在をいかした金属加工業の集積が図られていました。昭和39年には八戸地区新産業都市(3市5町1村)の指定を受け、臨海部における製紙業・非鉄金属などの基礎素材型企業の立

図 平成19年漁獲金額割合



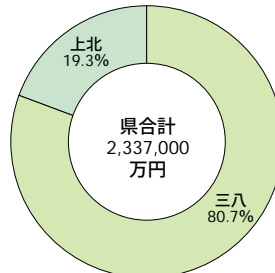
資料:青森県海面漁業に関する調査結果

図 平成18年農業産出額割合



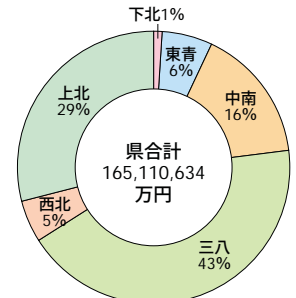
資料:生産農業所得統計

図 平成18年農業産出額割合-鶏 (鶏卵・ブロイラー)



資料:生産農業所得統計

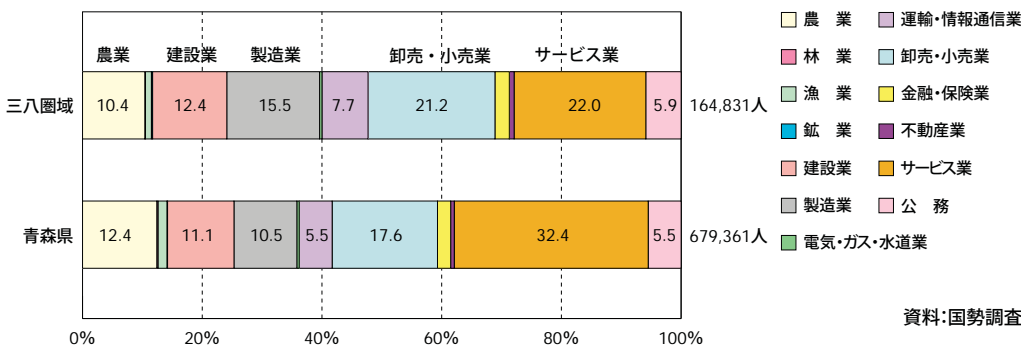
図 平成19年製造品出荷額等割合



資料:工業統計

地が進み、その後の平成元年に頭脳立地法による集積促進地域の指定により、内陸部における付加価値の高い加工組立型産業、ソフトウェア産業などの高度技術産業の集積が進んでいます。また、三戸町、五戸町、南部町、階上町、おいらせ町にも工業団地が立地していますが、一部の既存工業団地では企業立地の促進が必要となっています。

図 平成17年就業人口構成 (%)



資料:国勢調査

### 課題 2

本県を代表するものづくりの拠点として、高度技術産業などの集積をいかした、工業機能の適正な配置・立地が求められています。

特徴  
3

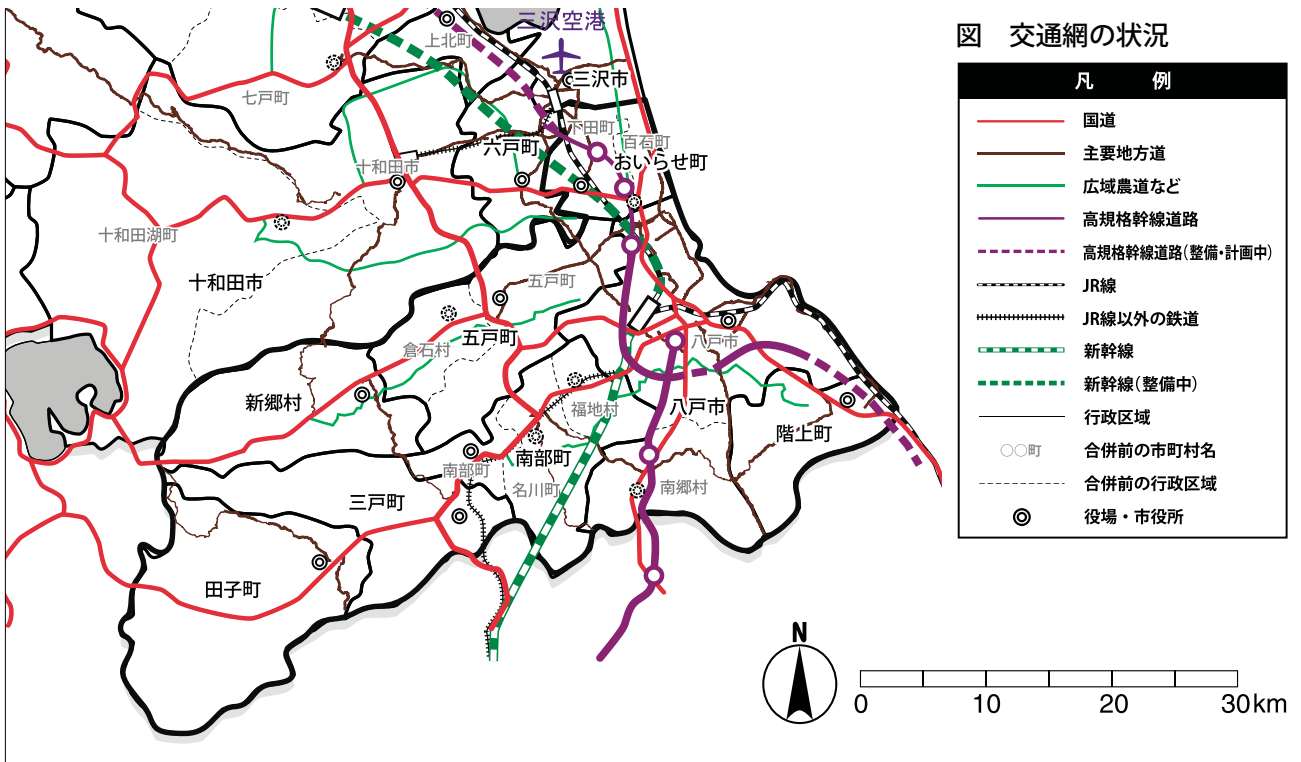
本圏域では、東北新幹線八戸駅が平成14年12月に開業し、昭和61年11月に東北縦貫道自動車道八戸線が開通するなど、高速交通体系が充実しています。また、圏域外との連携強化に向けて、東北新幹線は、平成22年12月の新青森駅開業をめざし、高規格幹線道路は、八戸・久慈自動車道が南北に延伸中です。本圏域は、海運の拠点でもあり、東南アジア定期航路や中国・

韓国・北米西海岸航路などを持つ重要港湾である八戸港があり、現在も機能強化に向け港湾施設用地造成の埋め立てが行われています。

このように本圏域では、他圏域や国内・海外を結ぶ多様な交通ネットワークが充実しており、物流のみならずグリーンツーリズムをはじめとする観光・交流を支える重要な要素にもなっています。

課題 3

各種産業や観光を支える交通ネットワークのさらなる充実のため、東北新幹線・高規格幹線道路の整備や八戸港の機能強化が求められています。



(2) 八戸市を中心に様々な都市機能を分担している圏域

特徴  
1

本圏域では、南部・西部の丘陵地帯より太平洋に流入する河川に沿って各都市が連なって位置し、太平洋に面して八戸市と階上町、おいらせ町が位置しています。各都市をつなぐ道路についてもおおむね河川に沿った形で位置しており、山間部にある都市では八戸市へのアクセス距離が遠いことから、その途中の五戸町や三戸町が八戸市の補完的役割を担う構造となっています。

本圏域では、通勤・通学、医療、商圏構成などの面で、八戸市を中心とした圏域構造となっており、また、おいらせ町を含む8市町村で、中心都市と周辺都市が人口定住のための必要な機能を確保する「八戸圏域定住自立圏」を構成しているなど、圏域としての結びつきが強くなっています。最近では、岩手県北部の二戸圏域・久慈圏域との県境を越える連携と交流の動きもみられます。

課題 1

八戸市を中心として、五戸町や三戸町が補完的役割を担う圏域構造の充実・強化とともに、隣接する岩手県北との連携・交流も求められています。

特徴 2

本圏域の中心都市である八戸市は、商業・業務、教育、医療など、圏域を超えるニーズを担う高次都市機能が集積しています。

特に三次医療を担う医療機能や、国の行政機能、大学・高専などの高等教育機能や工業系の研究開発機能などの集積がみられます。中心市街地においては空洞化が懸念される中、交流施設の整備など活性化に向けた取り組みが進められています。

五戸町と三戸町は、八戸市の補完的役割として教育や医療などの機能を有しています。その他、階上町は八戸市との良好な交通利便性をいかした居住機能を有し、南部町は地域の豊かな農業を活用した交流機能を有しています。また、おいらせ町は独立した商圈を有しています。

五戸町倉石地区や八戸市南郷地区など、一定規模の人口集積がある地区においては、日常生活に不可欠な機能の維持が必要です。

図 八戸商圈



図 おいらせ商圈



- 1次商圈(50%~)
- 2次商圈(30~49.9%)
- 3次商圈(10~29.9%)
- 4次商圈(5~9.9%)

資料：消費購買動向による  
商圈調査報告書  
(平成18年青森県・  
青森県商工会議所連合会・  
青森県商工会連合会)

課題 2

八戸市においては、高次都市機能の充実・強化や中心市街地の活性化が求められています。

五戸町や三戸町においては、八戸市を補完する機能、その他の都市においては、教育機能や医療機能の他、それぞれの特徴をいかした個性ある機能を維持・強化させることが求められています。

人口減少・高齢化が進む中でも持続可能な圏域としていくため、一定規模の人口集積がある地区においては、身近な生活サービス機能の維持が求められています。

図 圏域の通勤通学流入状況

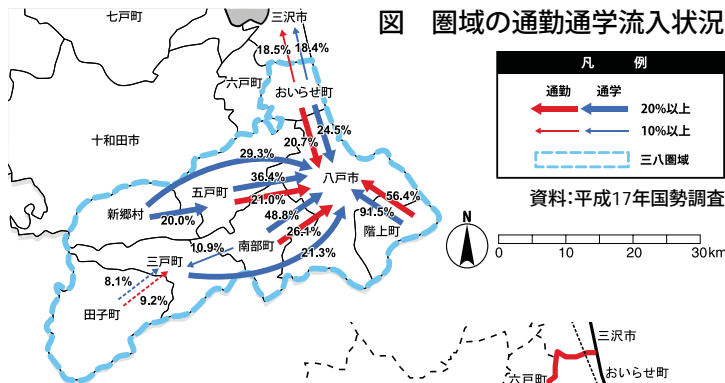
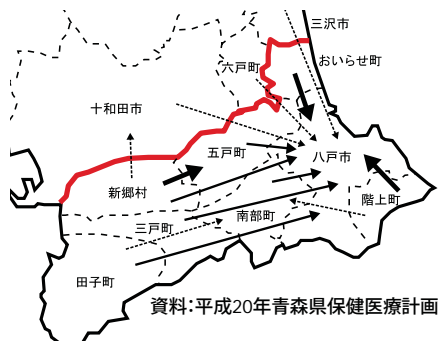
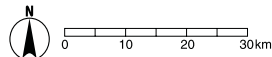


図 医療依存度



資料：平成20年青森県保健医療計画

特徴 3

本圏域では、高次都市機能を有する八戸市を中心とした圏域構造となっていることから、各都市と八戸市を結ぶ

鉄道・路線バスなどの公共交通と国道・県道などの交通基盤など交通ネットワークが重要な役割を果たしています。しかし、西部の山間部に位置する新郷村や田子町から圏域内の中心部へアクセスする公共交通は路線バスのみであり、それぞれ五戸町・三戸町で乗り換えが必要なことから、八戸市へのアクセスに不便がある状況です。

圏域外と八戸市を結ぶ交通ネットワークは、東北新幹線、高規格幹線道路・国道・県道などによって形成されていますが、今後は、県都青森市の有する行政機能などとの連携や、岩手県北部との交流を支える交通基盤の強化が必要です。

課題 3

八戸市を中心とした定住自立圏の確立に向け、圏域内の交通ネットワークの充実・強化が求められています。東青圏域や岩手県など、圏域外との連携強化のための交通ネットワークの充実・強化が求められています。

(3) 美しい海岸線や樹林地など、固有の自然や景観を有する圏域

特徴  
1

本圏域の南部・西部の山岳部はブナ、スギや赤松などの豊かな樹林地が広がっています。一方、東部の太平洋岸は、三陸海岸から連なる海岸段丘などの変化に富んだ海岸線を有し、蕪島はウミネコ繁殖地として天然記念物に指定されています。また、種差 海岸階上岳県立自然公園、名久井岳県立自然公園など特色ある県立自然公園が存在しているなど、良好な自然に恵まれた条件にあります。

本圏域ではこのような環境のもと、南部町における達者村の取り組みをはじめ、各市町村が協力して、圏域の自然を活用したグリ



蕪島(青森県HP)

ーンツーリズムなどの観光振興に取り組んでおり、今後は海辺を活用したブルー・ツーリズムの振興も期待されています。

課題 1

豊かな樹林地や変化に富んだ海岸線など、地域固有の自然の保全・活用が求められています。



名久井岳と馬淵川(南部町HP)



城山公園(三戸町HP)

特徴  
2

本圏域では、南西部の丘陵地より、馬淵川、新井田川、五戸川、奥入瀬川などの河川群が太平洋に注ぎ、圏域の生活用水や農業用水として利用されています。しかし、台風などの大雨時には馬淵川が氾濫するなど、洪水被害も発生しています。

課題 2

主要産業である水産業の場となる海域の水質を保全するため、河川の水質保全が求められています。また、河川における防災性の向上が求められています。

特徴  
3

本圏域は縄文時代の遺跡も多く、世界遺産の登録をめざしている八戸市の是川遺跡からは、国宝に指定された合掌土偶や飾り太刀が出土するなど、古くから優れた文化が形成されていた地域です。

五戸町や三戸町は五大街道の一つである奥州街道のルート上に発展してきた歴史を有している他、南部氏ゆかりの地として、国宝をはじめ多くの文化財が収められている南部総領鎮守の櫛引八幡宮、三戸城址(城山公園)や根城の広場など、地域の歴史を伝える文化財なども多く存在しています。

本圏域の南西部においては、山あい形成された河川や带状の農地と背後の山地・丘陵地のコントラストが、地域の心象景観を構成する要素となっています。

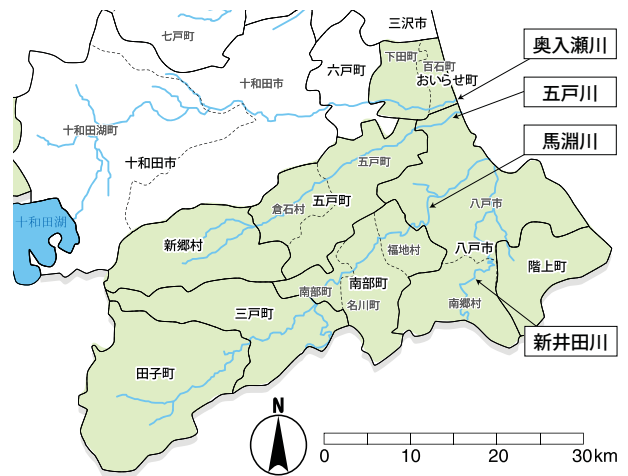
課題 3

縄文文化や史跡など、地域固有の歴史・文化資源の保全・活用・継承や、特色ある地形からなる景観の保全・継承が求められています。

図 三八圏域の自然資源



図 河川の状況(県管理2級河川以上のうち主なもの)



## II 圏域の将来像

### 海と山に囲まれた、活発な産業や利便性の高い生活が展開できる圏域

本圏域では、水産業・農業・畜産業がバランスよく展開されており、ものづくり拠点として発展しています。また、圏域各都市では、定住自立圏の構成などによりそのつながりが一層強くなっており、資源をいかした特色ある取り組みも行われています。

今後は、豊富な農林水産資源を活用した食産業の振興とともに、北東北のものづくりの牽引役としてさらなる役割の強化をめざします。また、圏域のアイデンティティとしての森川海の自然や歴史・文化を大切に継承し、八戸市における高次都市機能やその補完機能、圏域内の円滑な移動を支える交通ネットワークの充実・強化により、いつまでも安心して生活できる圏域をめざします。

このような将来像を(1)産業、(2)生活、(3)環境の各側面に分け、そのあるべき空間構造を整理すると、以下の(1)～(3)のように描かれます。

#### (1) 生産・流通機能が充実したものづくり拠点として発展する圏域

バランス良く展開されている水産業・農業・畜産業のフィールドとなる生産基盤の保全をめざします。

ものづくりの拠点として、既存の工業の立地集積をいかした、工業の適正な配置・立地をめざします。

新幹線・高規格幹線道路・八戸港など、ものづくり拠点や観光・交流を支える交通ネットワークなどの機能強化をめざします。

#### (2) 都市機能の集積・連携による持続的なまちづくりを実現する圏域

八戸市においては、高次都市機能の充実・交流機能の強化と、にぎわいと活気の感じられるまちをめざします。

五戸町と三戸町においては、八戸市の補完機能の充実・強化をめざし、その他の都市においては、それぞれの個性ある機能の充実・強化をめざします。

人口減少・高齢化を踏まえ、身近な生活サービス機能の維持・確保をめざします。

八戸市に円滑にアクセスでき、多様な都市機能を楽しむことができるよう、圏域内交通ネットワークの充実・強化をめざします。

東青圏域や岩手県など圏域外と連携する交通ネットワークの充実・強化をめざします。

#### (3) 水辺や地域固有の自然資源を保全・活用・継承する圏域

樹林地や変化に富んだ海岸線など、地域固有の自然資源の保全・活用とともに、自然災害に強い環境整備をめざします。

縄文時代の遺跡や、南部藩・八戸藩の歴史など特色ある歴史・文化資源の保全・活用・継承をめざします。

河川と農地及び周辺の丘陵地のコントラストなど、地域固有の景観の保全・継承をめざします。

## III 都市づくりの方針

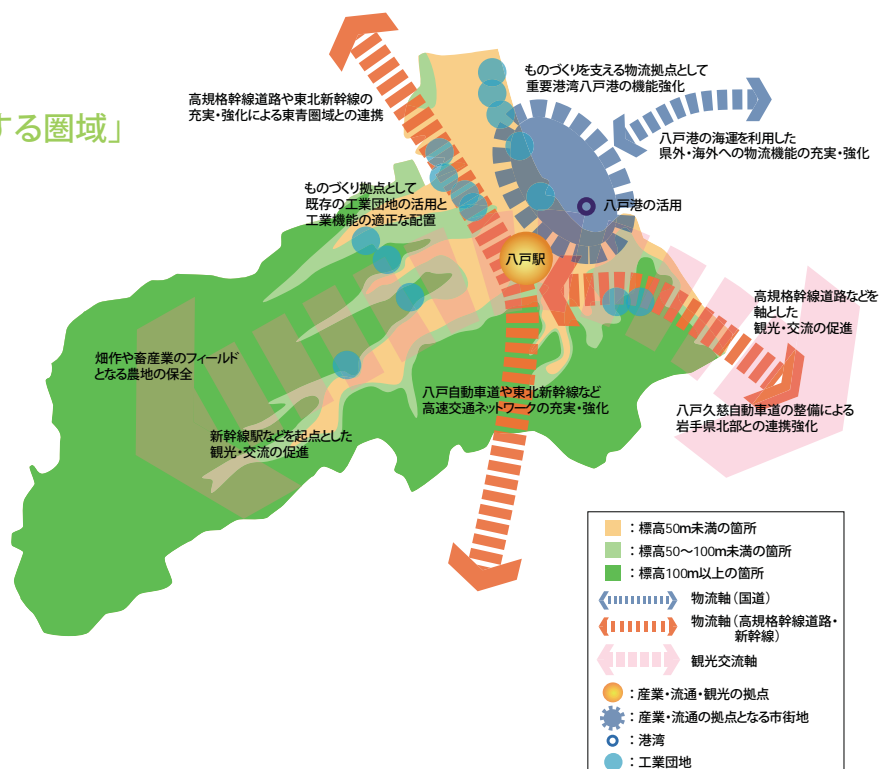
### (1) 「生産・流通機能が充実したものづくり拠点として発展する圏域」

#### 【土地利用に関する視点】

- 農業や畜産業のフィールドとなる農地の保全
- 基礎素材型産業から先端技術産業までの幅広いものづくり拠点としての、既存工業団地の活用と、工業機能の適正な配置・立地の推進

#### 【都市施設の整備に関する視点】

- 北東北のものづくりを支える物流拠点である重要港湾八戸港の港湾計画に基づく機能強化（防波堤の延伸、ポートアイランドII期計画の早期完成、循環型社会への対応など）
- 東北新幹線や高規格幹線道路など、圏域外とのネットワークを支える高速交通体系の充実・強化



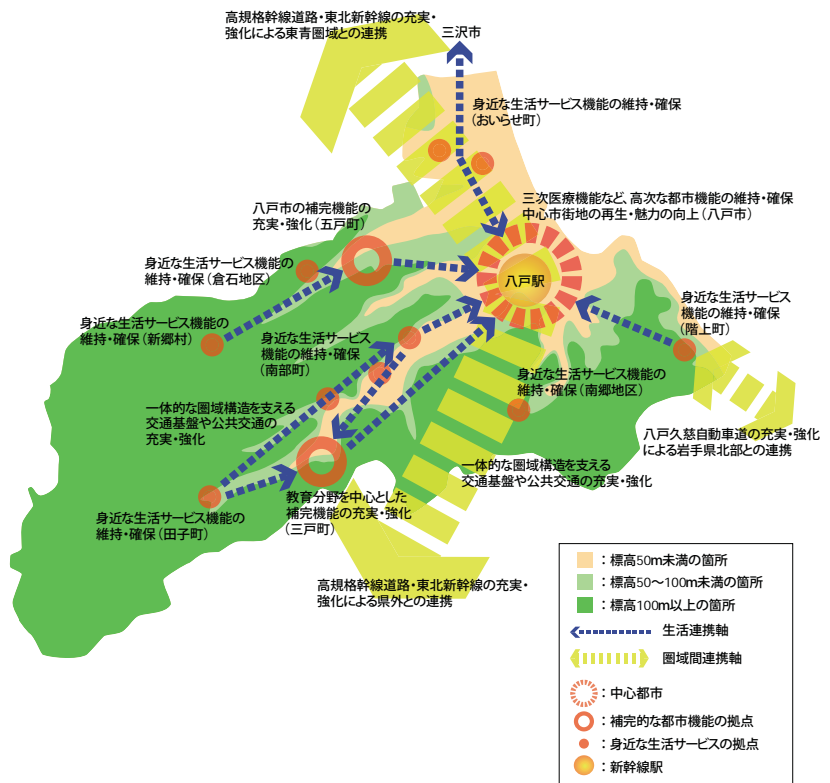
## (2) 「都市機能の集積・連携による持続的なまちづくりを実現する圏域」

### 【土地利用に関する視点】

- 八戸市における三次医療機能や高等教育機能などの高次な機能の充実・強化と、中心市街地の活性化・魅力の向上
- 五戸町や三戸町における、教育や医療などの八戸市の補完機能の維持・強化
- 一定規模の人口集積のある地区における、身近な生活サービス機能の維持

### 【都市施設の整備に関する視点】

- 一体的な圏域構造を支える、鉄道・路線バスや国道・県道などの公共交通や交通基盤の維持・充実
- 東青圏域や岩手県北部など、圏域外との連携を支える東北新幹線や高規格幹線道路などの交通ネットワークの充実・強化



## (3) 「水辺や地域固有の自然資源を保全・活用・継承する圏域」

### 【土地利用に関する視点】

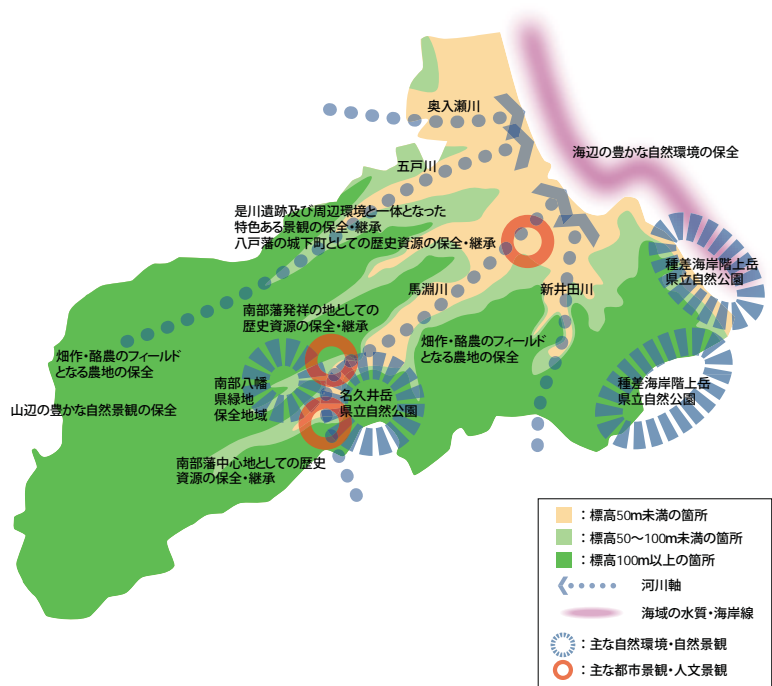
- 農業や畜産のフィールドとなる農地の保全

### 【都市施設の整備に関する視点】

- 圏域の水質保全を図るための馬淵川流域下水道などの整備・充実
- 台風による大雨時など自然災害に強い河川の整備

### 【自然的環境の整備または保全に関する視点】

- 南部・西部の樹林地、名久井岳県立自然公園など、豊かな自然環境の保全
- 種差海岸他、水辺の豊かな自然環境の保全
- 是川遺跡や八戸藩・南部藩の歴史など、圏域の歴史・文化資源の保全・継承
- 景観法などを活用した、地域固有の美しい景観の保全

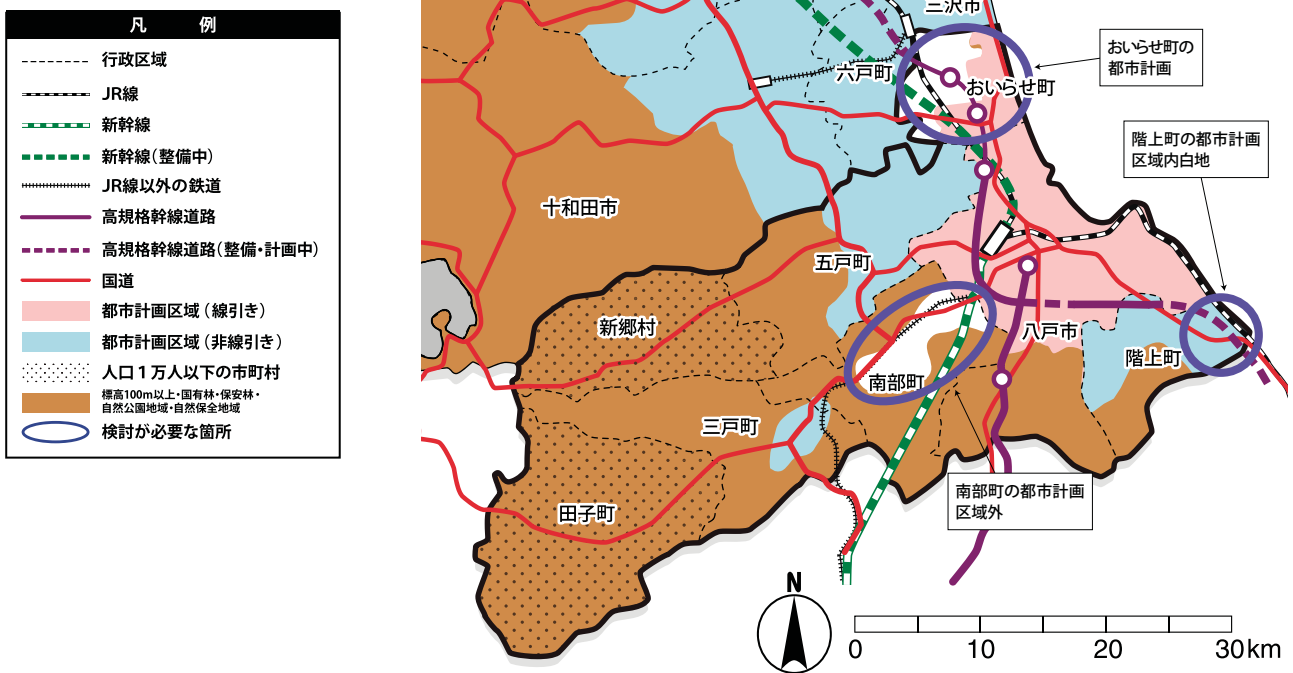


## IV 圏域としての土地利用マネジメントのあり方

### 課題

- ▶ おいらせ町は上北圏域ですが、三八圏域の八戸市と同一の都市計画区域であることから、2つの圏域に属している状況にあります。また、おいらせ町は都市計画区域内・外の両方があり、三沢市の市街地に隣接する都市計画区域外では市街化が進んでいます。このため、おいらせ町としての圏域の考え方や土地利用マネジメントのあり方について検討が必要です。
- ▶ 南部町の都市計画区域が指定されていない地区では、主に幹線道路周辺を中心に住宅などの立地が進んでいるため、居住環境や農村環境の保全の観点から適切な土地利用マネジメントが必要です。
- ▶ 階上町における非線引き都市計画区域の白地地域で、八戸・久慈自動車道の階上インターチェンジ予定地周辺では、交通利便性の向上から今後開発ポテンシャルの高まることが予想されるため、周辺環境との調和の観点から建築制限など適切な土地利用コントロールが必要です。

図 三八圏域における都市計画上の主な課題



### 検討すべき項目

- おいらせ町においては、町の実態に即した土地利用マネジメントを実現するため、都市計画区域の拡大を含め、都市計画区域などの見直しや土地利用コントロールの手法を検討します。
- 南部町の都市計画区域外において、幹線道路周辺など居住環境などの保全が必要な地区では、都市計画区域の拡大などを検討します。
- 階上町非線引き都市計画区域の白地地域で、今後整備される階上インターチェンジ周辺をはじめ良好な環境の形成及び保持が必要な地区においては、周辺環境との調和の観点から特定用途制限地域の指定などを推進します。